

平成 28 年度 大阪府立城東工科高等学校 第 2 回学校協議会（報告）

○開催日時：平成 28 年 10 月 5 日（水）15:00～16:30

○開催場所：大阪府立城東工科高等学校  
1 号棟 4 階 第一会議室

○出席者

委員 6 人（敬称略）

大石 利光：大阪電気通信大学 学長（協議会会長）

中農 康久：株式会社中農製作所 会長

上田 順治：上田容器株式会社 会長

山田 茂：株式会社山田製作所 社長

稲富 恵子：本校 PTA 会長

西口 眞弓：本校 PTA 副会長

本校職員 10 人

○内 容

1. 校長挨拶

2. 報告

①資格取得状況について

②キャリア教育・国際交流活動について

③進路状況について

3. 協議

①学校経営計画について

▼自己評価（中間報告）

▼経営計画の見直し

②学校教育自己診断アンケート（案）について

③その他

○協議概要（意見等抜粋）

①学校経営計画について

▼自己評価（中間報告）について

<教頭より>

・学校経営計画の評価指標により、現在までの進捗状況を報告。

<委員より>

・初任者ミーティングについて、計画より進んでいないようだがどうなっているのか？

⇒初任者研修は指導教諭が主導で毎週行っている。管理職を含めたミーティングを考査ごとに予定していたが、1 度流れてしまったので今回で 2 回目の開催となっている。少なくなった分は補充して実施する予定である。

・インターンシップの計画はどこまで進んでいるのか？

⇒今年度は夏休みに希望者がいなかったので、改めて冬休みに実施予定。従来は 4 日間をベースに実施していたが、職場見学や夏・冬にそれぞれ 2 日といった様々なバリエーションで希望者を増やしたいと考えている。

ただ、クラブ活動を熱心に取り組んでいる生徒は参加が難しい状況である。

- ・インターンシップは生徒のためだけでなく会社のためでもある。企業としては1週間程度来てもらいたい。
- ・学校経営計画は中期計画があって、単年度の計画があり、半期ごとに確認している。役割分担というか責任の所在を明確にしたアクションプランが必要ではないか。それを半年ごとに「苦労したところ」「上手くいったところ」の情報共有することが必要ではないか。

#### ▼経営計画の見直しについて

##### <委員より>

- ・平成30年から15歳人口が激減している。いかに生徒を獲得するか。  
⇒府全体の課題でもあり、教育庁としても工科高校のPRに取り組んでいる。ただ、うち単独での取組で足りない部分などあればご意見いただきたい。
- ・学校の特色としてグローバルよりも地域社会に重点を置いたほうが良いのでは？  
⇒グローバルを取り入れることで、それ以外の取組を非常に軽くすることは本末転倒だと思っている。地元の企業に就職したが数年後には海外の工場で働くというとも見据え、地域企業で活躍できるようグローバルにも取り組んでいる。
- ・PTAの活動として、OB・OGを巻き込み活動を発展させているが、学校の先生と連携が取りづらいつ感じている。もう少し教員、生徒と一緒に活動できないか？  
⇒文化祭で連携できるように考えたい。
- ・評価指標では遅刻総数が600回以下を維持となっているが、今のペースでは超えるのではないかと？  
⇒昨年度より増加傾向にあるのは1年生で数が増えている。不登校等も増えており学年としてそういう傾向が出ている。入試制度が変わり、入学生の傾向が昨年までと明らかに変わっている。
- ・企業にとっては、会社に遅れてくるというのが一番ダメ。もっとシビアに指導していただきたい。
- ・入学のときは先生方の責任ではない部分があるが、そういった子供たちが2年3年とどう変わるかを分析すれば、どこを強化すればよいのか見えてくるのではないかと。

#### ②学校教育自己診断アンケート（案）について

学校教育自己診断アンケートを12月中に実施し、2月の学校協議会で報告という流れで進めている。以前の学校協議会でご指摘いただいた点を考慮し、否定的な意見を吸い上げて改善につなげられるよう大幅に改定している旨を報告。

○次回開催：平成29年2月1日（水）を予定